

サミット反対デモへの 不当な弾圧許すな！ G7サミットは戦争会議！

8・6ヒロシマ大行動実行委員会
広島市中区袋町5-4-302 電話&FAX 082-245-8410



8・6ヒロシマ大行動実行委員会が予定しているサミット反対のデモの申請に対して、広島県警は5月18日から21日まで上記の地図の斜線部分を規制すること、規制エリア内のデモを認めない可能性がある旨の「説明」を行なってきました。規制のエリアについては写真のような蛇腹ゲートなどを設置して人や車の通行を規制する事を明らかにしました。



また、これと合わせて広島市は5月18日から21日の平和公園の立ち入り規制、および規制エリア内の区民文化センターなどの市民会場を休館にして会場貸し出しの取り消しを行なってきました。

サミット会議は元宇品のプリンスホテル（原爆ドームから約6キロ南）で行うにもかかわらず、なぜ4日間にもわたって平和公園を挟む幅1キロから1.5キロの地帯を警察が制圧しなければならないのか。まさにG7による「広島占領」です。

明らかに平和公園とその周辺で戦争反対、核反対の声を上げさせないための政治的弾圧

そのものです。サミット期間中、全世界が広島に注目するからこそ、労働者市民が平和公園に近づくこと、政治的アピールをさせないための規制です。この規制の実態こそがG7広島サミットが全くの不正義で広島市民から全く歓迎されない内容の戦争会議であることが示されています。

広島市中心部では学校も保育園も休みになるところが続出し、仕事を休まざるを得ない人が大勢います。にもかかわらず休業補償さ

G7広島サミット＝戦争会議の正体

この異常な規制が示していることは今回のG7広島サミットの正体が不正義の戦争会議だと言うことです。被爆者や市民の「核廃絶」「反戦反核」の願いを真っ向から踏みにじり、戦争を激化・拡大し世界を核戦争に引きずり込んでいく会議であるからこそ、このような異常な規制・弾圧が行われているのです。「被爆者の声を届ける」とか「資料館を見学してもらう」ということによって戦争会議としての性格は1ミリも変わりません。

岸田首相はG7広島サミットを前にウクライナを訪問し「必勝」しゃもじを寄贈しました。世界中の多くの国と人々が「即時停戦を」と声を上げているときに、「勝つまで戦争をやれ」とメッセージを送っているのです。

ゼレンスキー大統領がオンライン参加するG7広島サミットにおいてウクライナ戦争の継続・拡大が議論されることは間違いありません。イギリス軍供与の戦車が劣化ウラン弾を使用することが暴露されています。ウクラ

G7広島サミット反対の行動に立とう！

岸田首相はじめG7首脳は「核なき世界の実現」とか「核の威嚇に屈しない」という言い方で、ロシアとの戦争、中国との戦争に突っ込んでいこうとしています。ヒロシマを戦争に利用するつもりです。冗談じゃない！はっきりと「戦争会議であるG7広島サミット反対！」の声を上げることが必要です。G

えせず、「サミットなので協力してください」とこの状況を強制しようとしています。ふざけるな！

私たち実行委員会は4月20日、広島県公安委員会（県警が窓口）に対して、あくまでも計画通りのデモ申請を正式に行いました。通常数日で許可決定が出るにもかかわらず、2週間以上経ってもいまだに決定が出ていません。公安委員会は直ちに許可決定を出せ！

イナの人々を地獄の戦場、さらには放射能汚染の地獄に叩き込むことであり、決して平和をもたらすものではありません。

また、「力による一方的な国際秩序の変更は認めない」と言う言い方で、中国に対する軍事的圧力を強め、米日を軸とした中国侵略戦争のための会議としてもG7広島サミットは設定されています。

被爆者を先頭に広島の市民が「戦争を繰り返してはならない」「核兵器をなくせ」と叫び続けてきたことを真っ向から踏みにじることが話し合われようとしているのです。これに対する被爆者・労働者市民の怒りが爆発し、デモなどでG7首脳に叩きつけられること、平和公園から全世界の人々に「戦争をとめよう！」「戦争を進める為政者を打倒しよう！」と言うメッセージが発せられることに恐怖するからこそ、このような異常な規制・弾圧が行われているのです。

7広島サミット粉碎！ 5・17～21の行動に立とう！

17日、18日 18:30 原爆ドーム前

19日 10:00、13:00 袋町公園

20日 10:00 南区民文化センター

21日 11:00 袋町公園

詳しくは別紙ビラまたは→

